

学生教職員のネットワークとしての SNS の活用

-東日本大震災を経験して-

布施 雅彦

Email: mfuse@fukushima-nct.ac.jp

福島工業高等専門学校 一般教科情報

◎Key Words SNS, ソーシャルメディア, 情報システム, スマートフォン

1. はじめに

新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム（以後学生支援 GP）により SNS を導入してから 5 年間経ち、そして、震災後 2 年間を経過し、震災時の有用性から学内ネットワークとして認知され、学生は学内生活全般に活用ができようになった。また、教職員も震災後から意識の変化があり、職員の参加も増え活用方法も変化し、様々な活用が始まった。

そして、学生の指導面でも変化があり、震災前は授業時間中の携帯電話の取扱は、電源 OFF にしてロッカーまたは鞆に入れておく指導であったが、震災後は、緊急連絡等に保護者と連絡がとれるようにということで授業時間中の禁止に変更になった。そして、スマートフォンの普及が、よりいっそうのアクセスの向上につながり、教職員—学生間の距離を短くすることが可能になった。facebook や google+, MIXI, Twitter, LINE などの外部のサービスもあるが、学内で安全に利用できる SNS の役割について報告する。

2. 震災前後の学内 SNS

2.1 震災前後の SNS のアクセス数について

図 2 は約 5 年間運用した SNS のアクセス数で

ある。震災時の時点では、NS による導入・指導が始まり 3 年目が終了直後であった。授業で指導を受けた学生が 1~3 学年、特別講習で指導を受けた学生が 4 学年で、5 年生は一部という状態であった。新 1 年生は、4 月後半から登録作業を始め、毎年 5 月前後頃にアクセス数が多くなる。但し震災時は、5 月始まりだったため、1 年生の利用開始が 1 ヶ月遅れている。年間では 3 月が一番少ないアクセス数の月であったが震災時は例年の約 3 倍だった。図 1 の SNS の携帯サイトへのアクセスは、従来約 50% で推移してきたのだが、2012 年 4 月を堺に急激に減少している。スマートフォン時代に突入し、新入学生と買い替え組により PC アクセスとなった。今年度の 4~5 月はすでに 5% を割り込み、全体のアク

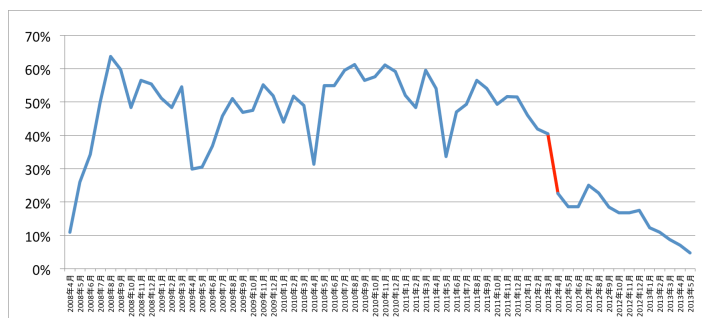


図 1 携帯サイトへのアクセス数

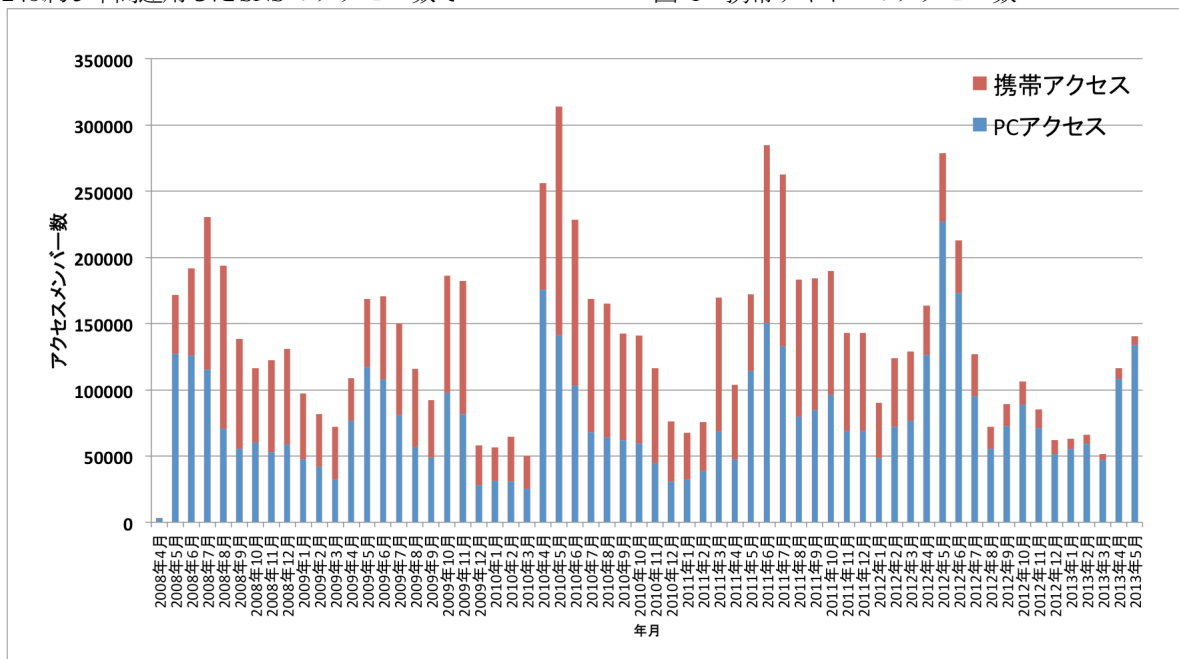


図 2 SNS のアクセス数の推移

セス数は減少気味になっている。2013年6月で一週間のユニークなアクセス数は628人であり、利用者数は特に減ってはいない。実際に複数回、何度もアクセスする学生が減ってきていることを示している。学生個人同士では、LINEやメールで気軽にコミュニケーションを取るようになり、必要最低限の内容になってしまった。また、スマートフォン用アプリの導入が必要であると思われる。

逆に、学生会活動には、積極的に導入し、学生会の中心的な組織では、部活動の代表者との連絡や文化祭の連絡は、SNSを中心に活動が始まり、学生会活動の中心的な役割になっている。

3. SNSのトピックスへのアクセスの変化

3.1 震災時にアクセスが多かったトピック

震災前は、主に一部の授業や一部のクラス、一部の部活に関連するトピックスが多かった。表1は、震災時にアクセスされたトピックの上位で、2011年3月には、放射線情報、安否・避難関連、緊急時の学校からの事務的な連絡、《癒し系のちょっといい話》についてであった。2011年4月の時には、放射線情報へのアクセスは減り、学校からへの事務的な関連、復興関連の情報（インフラ）、就職が増えた。《癒し系のちょっといい話》は4月も上位につけた。

3.2 現在のアクセスが多いトピック

表2は、2013年5月のアクセスの多いトピックである。上位は、学生会関連の学生会・部活動・文化祭関連の活動が多い。そして、事務連絡の「落し物」「保健室」などの項目が入ってきた。

4. おわりに

震災時の経験を生かし、日頃からの利用できる学内の情報ネットワーク網の構築が、緊急時にいかに重要か実践を通して、伝えなければならないと感じる。そして、ネットワークは一人では構築できない。学校に関わる人達が、多くの関係者で活用し維持していなければならないことを、伝えて行かなければならない。そうでなければ、一次的なもので終わらない。いざという時には、機能しないものになってしまう。

参考文献

- (1) 布施雅彦, 三浦靖一郎, 根本信行, 小澤哲, 井上賢治, 後藤悠: “福島高専における学生支援の為にeラーニング2.0 - SNSを中心とした学生・教職員のコミュニケーションの活性化へ -”, Computer & Education Vol.026, pp.24-29,(2009).
- (2) 布施雅彦, 井上賢治, 三浦靖一郎: “東日本大震災時における学生同士を繋ぐ学校 SNS の有効性について”, 2011PCカンファレンス, pp136-139(2011) .
- (3) Masahiko Fuse, Satoru Ozawa, Seiichiro Miura: “Role of the Internet for Risk Management at School”, 2012 International Conference on Information Technology Based Higher Education and Training, PS12(2012)
- (4) 布施 雅彦, 三浦靖一郎他: “福島・茨城両高専における外部電子メールシステムと学内SNSの導入の有効性について”, 高専教育 巻(号)第33号, pp.67-72(2010).

表1 震災時のトピック別アクセス数表示

トピック別アクセス数表示 2011年03月分	合計
放射線モニタリングポスト情報のトピック	1919
【重要: 至急: 学校再開へ向けて: 学校長からのアンケートの依頼】	1764
避難先・被害状況・近況報告	1688
13日21時 現在の安否情報です。安否が確認出来ていない学生のリストです。	1375
小売店情報	1253
いわきライフライン情報を教えてください。	1063
14日8時現在の安否が未確認の学生リスト	982
こんなときだからこそ、ちょっといい話	917
【重要】アンケートの未回答の学生1~2年生(25日15時現在)	913
【重要】アンケートの未回答の学生3~4年生(25日15時現在)	809
被災、避難状況、連絡方法についてご連絡を	690
【高専機構】※卒業式・入学式・入学手続きの延期情報等	671
【学校】転校を希望する学生へ(重要)	664
授業料免除申請について	658
各地域の被害状況など共有したいと思います。	647
高速道路	639
避難の為に給油可能GSの情報の提供ください	569
【学校】学生寮からのお知らせ	563
安否確認	533
【重要】学校から重要連絡	526
トピック別アクセス数表示 2011年04月分	合計
【JRでの再開の状況】がJR東日本に掲載されてました。	1521
【学校: 重要】平成23年度 入学式・編入学式・始業式について	1503
こんなときだからこそ、ちょっといい話	889
放射線モニタリングポスト情報のトピック	867
東京電力が...	836
放射性物質への対応について	809
【情報処理センター】緊急のメンテナンス	581
宮城が震源の大きな余震がありました	581
【学校】本校学生の校内への立入について	481
重要: 4月7日まで: 学生・保護者及び教職員・家族の生活居住環境の状況調査	476
【学校】昨年の成績・教科書の購入・新入生・在校生および保護者の皆さまへ	444
いわきライフライン情報を教えてください。	434
【学生委員会】先程の地震による被災の連絡	406
【専攻科入試】平成24年度福島高専専攻科入試日程について	364
【寮】学生寮からのお知らせ	362
通学証明書について	356
浜通りの町長と直接の知り合いの学生(保護者)または教職員の方へお願い	337
【学校】昨夜の余震の被害状況の連絡	330
【学校】就職支援システム「学職」Web版の開設について	325
平成23年度行事予定表について	265
最後の確認: 始業式の日程	248

表2 トピック別アクセス数表示 2013年05月分

トピック名	コミュニティ名	合計
平成25年度学生会名簿提出	評議委員 & 各部活動の連絡係のコミュニティ	465
落とし物についてのご連絡	会員連絡	446
【連絡事項】のトピック	情報基礎全員	381
諸連絡	【磐陽祭2013】委員長のコミュニティ	345
【欠席時の補習報告・小テストの受付】	情報基礎全員	247
【企画】データファイル	【磐陽祭2013】委員長のコミュニティ	213
第1回 催し物委員会会議について	【磐陽祭2013】催し物委員会	200
Meetings	英語サークル	179
	第35-38回関東信越地区高専文化部交流会のコミュ	168
【連絡事項: 第38回】		168
【連絡事項】	コミュニケーション情報(2013年度入学)	168
部屋の予約	【磐陽祭2013】委員長のコミュニティ	157
【連絡事項】	いわき百科事典プロジェクトPart2	139
【活動報告】ストリートダンスサークル	活動報告(サークル)	139
自分のパソコンの学校のマイクログフトオフィスを入れたい方へ	情報基礎物質	134
平成25年度活動報告書関連資料ダウンロード	評議委員 & 各部活動の連絡係のコミュニティ	131
5月2日の活動計画	タートル幾何学への招待(H24~H25年度: 馬場研究室)	130
議事録	【磐陽祭2013】委員長のコミュニティ	121
食生活の見直し(保健室より)	会員連絡	113